

運用報告書(全体版)

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	無期限	
運用方針	主として、日本を除く世界各国の株式のうち、時価総額の大きな銘柄にグローバルな視点で投資し、値上がり益の獲得および配当等収益の確保を目指して運用を行います。	
主要投資対象	ハリス世界株ファンド(毎月決算型)	ALAMCO ハリス グローバルバリューストックマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ALAMCO ハリス グローバルバリューストックマザーファンド	日本を除く世界各国の株式を主要投資対象とします。
組入制限	ハリス世界株ファンド(毎月決算型)	株式への実質投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ALAMCO ハリス グローバルバリューストックマザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎月9日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配対象額の範囲内で、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。	

ハリス世界株ファンド (毎月決算型)

第113期(決算日 2019年10月9日)
第114期(決算日 2019年11月11日)
第115期(決算日 2019年12月9日)
第116期(決算日 2020年1月9日)
第117期(決算日 2020年2月10日)
第118期(決算日 2020年3月9日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご投資いただいております「ハリス世界株ファンド(毎月決算型)」は、第113期から第118期までの決算を行いましたので、当期間の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも、一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

東京都杉並区和泉一丁目22番19号

<お問い合わせ先>

ホームページ：<http://www.alamco.co.jp/>

フリーダイヤル：0120-283-104

〔受付時間〕 営業日の午前9時～午後5時

○本報告書の表記について

・原則として、数量、額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数で表記する場合があります。－印は、組入れ、異動などの該当がないことを示します。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配 金	期騰 落率	期騰 落率	期騰 落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
89期(2017年10月10日)	15,062	150	7.1	229,170.04	6.7	96.4	—	8,064
90期(2017年11月9日)	14,944	150	0.2	234,990.97	2.5	93.3	—	9,119
91期(2017年12月11日)	14,769	100	△ 0.5	237,245.51	1.0	93.8	—	10,618
92期(2018年1月9日)	15,269	150	4.4	245,664.70	3.5	94.9	—	11,791
93期(2018年2月9日)	14,135	100	△ 6.8	223,376.03	△ 9.1	88.9	—	13,947
94期(2018年3月9日)	13,841	100	△ 1.4	228,596.45	2.3	94.2	—	14,614
95期(2018年4月9日)	13,148	100	△ 4.3	220,493.12	△ 3.5	94.3	—	15,240
96期(2018年5月9日)	13,556	100	3.9	230,269.17	4.4	94.1	—	16,538
97期(2018年6月11日)	13,438	100	△ 0.1	235,631.94	2.3	96.3	—	17,307
98期(2018年7月9日)	13,172	100	△ 1.2	236,287.28	0.3	94.4	—	17,875
99期(2018年8月9日)	13,373	100	2.3	243,022.66	2.9	95.3	—	18,613
100期(2018年9月10日)	12,624	100	△ 4.9	240,343.16	△ 1.1	96.8	—	17,959
101期(2018年10月9日)	12,727	100	1.6	244,470.47	1.7	96.5	—	18,434
102期(2018年11月9日)	12,061	100	△ 4.4	240,612.42	△ 1.6	96.5	—	17,810
103期(2018年12月10日)	10,941	100	△ 8.5	223,423.09	△ 7.1	96.9	—	16,226
104期(2019年1月9日)	10,439	100	△ 3.7	212,824.83	△ 4.7	97.7	—	15,585
105期(2019年2月12日)	11,022	100	6.5	226,966.89	6.6	97.6	—	16,652
106期(2019年3月11日)	11,087	100	1.5	231,115.51	1.8	97.6	—	16,765
107期(2019年4月9日)	11,660	100	6.1	244,054.37	5.6	98.1	—	17,720
108期(2019年5月9日)	11,365	100	△ 1.7	238,739.30	△ 2.2	97.5	—	17,377
109期(2019年6月10日)	10,616	100	△ 5.7	235,025.02	△ 1.6	96.1	—	16,499
110期(2019年7月9日)	11,036	100	4.9	243,463.30	3.6	96.3	—	17,223
111期(2019年8月9日)	10,241	100	△ 6.3	231,989.78	△ 4.7	96.8	—	16,096
112期(2019年9月9日)	10,512	100	3.6	237,337.02	2.3	97.4	—	16,656
113期(2019年10月9日)	10,051	100	△ 3.4	230,694.70	△ 2.8	96.9	—	16,109
114期(2019年11月11日)	11,329	100	13.7	251,412.95	9.0	97.4	—	18,177
115期(2019年12月9日)	11,007	100	△ 2.0	253,248.68	0.7	97.2	—	17,881
116期(2020年1月9日)	11,513	100	5.5	263,411.50	4.0	97.3	—	18,717
117期(2020年2月10日)	11,119	100	△ 2.6	268,755.11	2.0	96.8	—	18,349
118期(2020年3月9日)	8,914	50	△19.4	223,433.52	△16.9	94.0	—	15,494

(注) 基準価額および分配金は1万口当たりの値です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みで計算しています。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、株式組入比率、株式先物比率は実質比率で記載しています。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注) 参考指数は、MSCI KOKUSAIインデックス(米ドルベース)をもとに、当社で対顧客電信売買相場仲値(円/ドルレート)を使って円換算したもので、当該外貨建指数については基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています(以下同じです)。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		参 考 指 数		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		円	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第113期	(期 首) 2019年9月9日	10,512	—	237,337.02	—	97.4	—
	9月末	10,572	0.6	238,499.96	0.5	96.5	—
	(期 末) 2019年10月9日	10,151	△ 3.4	230,694.70	△ 2.8	96.9	—
第114期	(期 首) 2019年10月9日	10,051	—	230,694.70	—	96.9	—
	10月末	11,078	10.2	247,420.00	7.2	96.6	—
	(期 末) 2019年11月11日	11,429	13.7	251,412.95	9.0	97.4	—
第115期	(期 首) 2019年11月11日	11,329	—	251,412.95	—	97.4	—
	11月末	11,320	△ 0.1	256,358.35	2.0	96.8	—
	(期 末) 2019年12月9日	11,107	△ 2.0	253,248.68	0.7	97.2	—
第116期	(期 首) 2019年12月9日	11,007	—	253,248.68	—	97.2	—
	12月末	11,649	5.8	263,735.02	4.1	97.4	—
	(期 末) 2020年1月9日	11,613	5.5	263,411.50	4.0	97.3	—
第117期	(期 首) 2020年1月9日	11,513	—	263,411.50	—	97.3	—
	1月末	10,976	△ 4.7	263,861.95	0.2	96.1	—
	(期 末) 2020年2月10日	11,219	△ 2.6	268,755.11	2.0	96.8	—
第118期	(期 首) 2020年2月10日	11,119	—	268,755.11	—	96.8	—
	2月末	10,034	△ 9.8	242,700.42	△ 9.7	95.6	—
	(期 末) 2020年3月9日	8,964	△19.4	223,433.52	△16.9	94.0	—

(注) 基準価額は1万口当たりの値です。

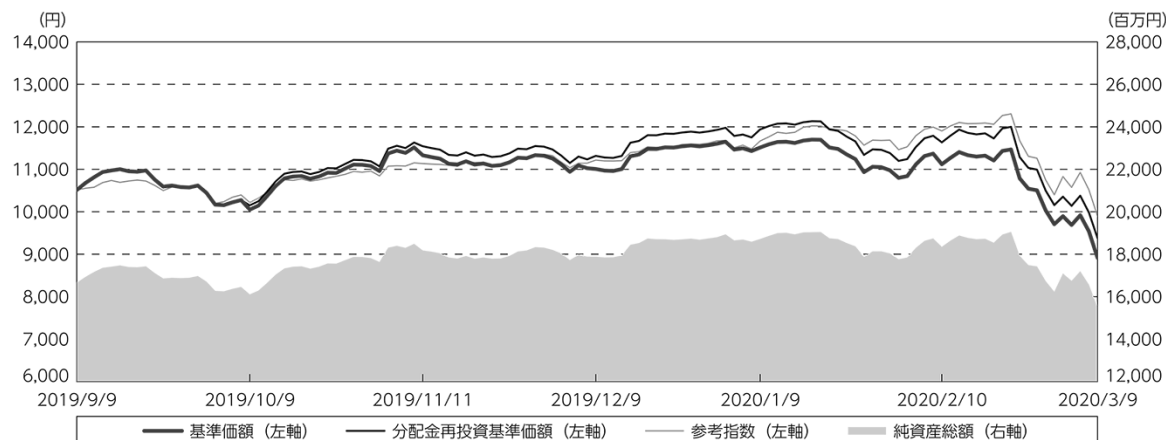
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比で計算しています。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、株式組入比率、株式先物比率は実質比率で記載しています。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

◎運用経過(2019年9月10日～2020年3月9日)

○作成期間中の基準価額等の推移



第113期首：10,512円

第118期末：8,914円(既払分配金(税込み):550円)

騰落率：△10.8%(分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

○基準価額の主な変動要因

主な上昇要因としては、米中が通商協議で部分的な合意に達したことや、予想を上回る企業決算の発表などが挙げられます。

主な下落要因としては、2020年2月下旬以降、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、景気や企業業績への懸念が急速に強まったことや、米ドルやユーロに対して円高となったことなどが挙げられます。

○投資環境

当作成期の海外株式市場は、2020年2月中旬までは上昇基調となりましたが、当作成期末にかけては大きく下落しました。

当作成期初は、米中通商協議の進展に対する期待から、海外株式市場は上昇して始まりましたが、ペロシ米下院議長がトランプ米大統領の弾劾手続きの開始を発表したことや、米国のISM製造業景況指数など経済指標が事前予想を下回り、景気減速懸念が意識されたことなどから、2019年10月初めにかけては下落し、当作成期初の水準を下回りました。

しかしその後は、米国の雇用統計が堅調であったことや、米中閣僚級通商協議後にトランプ米大統領が「非常にうまくいった」と発言し、通商協議の進展期待が高まったことなどから、海外株式市場は反発しました。その後も、発表された米国の企業決算が堅調であったことや、中国商務省が「第1段階」の通商合意に向けて懸命に取り組むと表明したこと、トランプ米大統領が米中合意の可能性が高いとの見解を示したことなどから上昇基調となりました。

12月初めに、予想を下回る米国のISM製造業景況指数の発表を受けて、海外株式市場は調整しましたが、その後は、米中通商協議の「第一段階」の合意が近いとする報道や、堅調な米国の雇用統計を受けて反発しました。その後も、米中が通商協議で部分的な合意に達したと報道されたことや、イギリスの下院選挙で与党・保守党が過半数を獲得し、EU(欧州連合)離脱を巡る不透明感が後退したことなどから、海外株式市場は上昇を続けました。

2020年1月末にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大懸念が強まり、海外株式市場は下落しましたが、2月に入ると、発表された米国の経済指標や企業決算が良好であったこと、中国人民銀行が連日で大規模な資金供給を実施したことなどを背景に反発し、当作成期中の高値を付けました。

しかし、2月下旬以降は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、景気や企業業績への懸念が急速に強まったことから、海外株式市場は大きく下落しました。

当作成期末の海外株式市場は結局、前作成期末との比較では下落となりました。地域別では、欧州市場の下落が目立ちました。

為替市場では、円は米ドルに対して大幅な円高となり、ユーロに対しても円高となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

主要投資対象であるALAMCO ハリス グローバル バリューストックマザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券に投資することにより、実質的な運用をマザーファンドで行っています。マザーファンドは主として日本を除く世界各国の株式のうち、時価総額の大きな銘柄にグローバルな視点で投資し、値上がり益の獲得および配当等収益の確保を目指して運用を行います。

バリューストック投資で評価の高い米ハリス・アソシエイツ・エル・ピー(以下「ハリス・アソシエイツ社」といいます。)に運用を委託しています。

作成期首に保有していた銘柄のうち当作成期中に全売却したものは以下のとおりです。これらは売却目標に達したか、ポートフォリオの価値を高める、より魅力的な銘柄を組入れるために売却したものです。

銘柄	投資国	業種
ダノン	フランス	食品・飲料・タバコ
ゼネラル・エレクトリック	アメリカ	資本財

(注) 業種はGICS(世界産業分類基準)に基づく24産業グループによります(以下同じです。)

一方、当作成期に新規に組入れを行った主な銘柄と概要は以下のとおりです。

銘柄、投資国、業種	概要
パークシャー・ハサウェイ アメリカ 各種金融	様々な業種の企業に投資を行う持ち株会社で、保険事業、鉄道事業、化学品事業などの運営も行っています。

○当ファンドのベンチマークとの差異

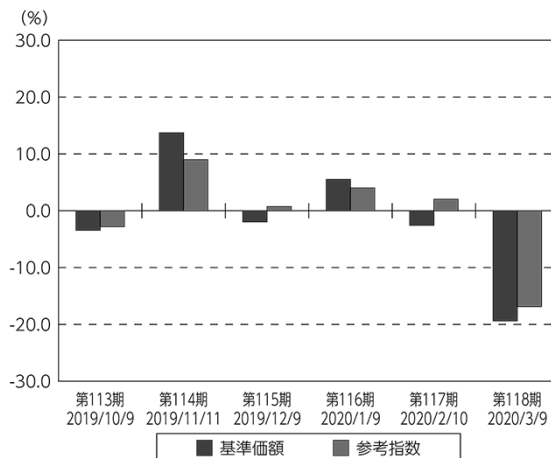
当ファンドは運用の目標となるベンチマークはありません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数が作成期首比5.9%下落したのに対し、基準価額は10.8%の下落となり、参考指数を4.9%下回る結果となりました。個別銘柄選択効果がマイナスに働いたことや、ファンドから控除される信託報酬等のコストがマイナスの乖離要因となりました。

個別銘柄では、リジェネロン・ファーマシューティカルズ(アメリカ、医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス)、チャーター・コミュニケーションズ(アメリカ、メディア・娯楽)、サムスン電子(韓国、テクノロジー・ハードウェアおよび機器)などがプラスに寄与したものの、グレンコア(イギリス、素材)、ダイムラー(ドイツ、自動車・自動車部品)、アメリカン・インターナショナル・グループ(アメリカ、保険)などがマイナスに寄与しました。

基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金込み(税込み)です。

○分配金

当作成期の分配金につきましては、収益分配方針に基づき、基準価額水準などを勘案して、それぞれ1万口当たり、第113期は100円、第114期は100円、第115期は100円、第116期は100円、第117期は100円、第118期は50円とさせていただきます。

なお、収益分配にあらず信託財産内に留保した利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期
	2019年9月10日～ 2019年10月9日	2019年10月10日～ 2019年11月11日	2019年11月12日～ 2019年12月9日	2019年12月10日～ 2020年1月9日	2020年1月10日～ 2020年2月10日	2020年2月11日～ 2020年3月9日
当期分配金 (対基準価額比率)	100 0.985%	100 0.875%	100 0.900%	100 0.861%	100 0.891%	50 0.558%
当期の収益	—	7	—	7	—	—
当期の収益以外	100	92	100	92	100	50
翌期繰越分配対象額	4,530	4,438	4,338	4,246	4,147	4,097

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益および当期の収益以外は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計した額が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

マザーファンドへの投資により、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。ハリス・アソシエイツ社では、独自の集中したファンダメンタルズ調査に基づき、企業の持つ本来価値から相当割安な価格で取引されており、かつ経営陣が実質オーナーとしての自覚を持って行動しているような企業を探し出して投資します。ポートフォリオは、厳格な基準に基づいて絞り込まれ、構築され、モニタリングされています。どのような市場環境においても、投資は長期的な視野に立ち、常に優れたリターンを得ることを目的に行われます。今後とも徹底したバリュー哲学に基づいてポートフォリオの運用を続けてまいります。ハリス・アソシエイツ社では、ポートフォリオは引き続き投資魅力度の高い銘柄で構成されており、長期的に優れたリターンをご提供できるものと考えています。

○ 1万口当たりの費用明細

(2019年9月10日～2020年3月9日)

項 目	第113期～第118期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 111	% 1.012	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(67)	(0.613)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(39)	(0.356)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(5)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.010	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際に支払う手数料です。
（ 株 式 ）	(1)	(0.010)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.010	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
（ 株 式 ）	(1)	(0.010)	
(d) そ の 他 費 用	4	0.033	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.032)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および 資金の送金・資産の移転等に要する費用です。
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用です。
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	117	1.065	
作成期間の平均基準価額は、10,938円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

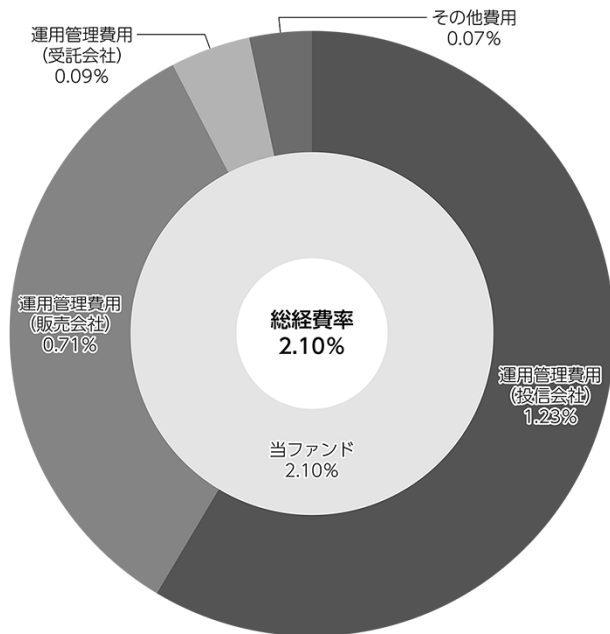
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます。)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は2.10%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年9月10日～2020年3月9日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第113期～第118期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ALAMCO ハリス グローバル バリュース株マザーファンド	千口 263,935	千円 500,000	千口 142,254	千円 300,000

○株式売買比率

(2019年9月10日～2020年3月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第113期～第118期	
	ALAMCO ハリス グローバル バリュース株マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額	11,145,704千円	
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	35,183,529千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.31	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2019年9月10日～2020年3月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年3月9日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第112期末	第118期末	
	口 数	口 数	評 価 額
ALAMCO ハリス グローバル バリュース株マザーファンド	千口 8,721,755	千口 8,843,437	千円 15,140,849

(注) 親投資信託の当作成期末の受益権総口数は、17,903,520千口です。

○投資信託財産の構成

(2020年3月9日現在)

項 目	第118期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ALAMCO ハリス グローバル バリューストックマザーファンド	15,140,849	97.0
コール・ローン等、その他	472,133	3.0
投資信託財産総額	15,612,982	100.0

(注) ALAMCO ハリス グローバル バリューストックマザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(30,368,689千円)の投資信託財産総額(30,822,468千円)に対する比率は98.5%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、当作成期末における邦貨換算レートは、1米ドル=102.01円、1ユーロ=115.85円、1英ポンド=133.27円、1スイスフラン=109.62円、100韓国ウォン=8.53円、1南アフリカランド=6.36円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第113期末	第114期末	第115期末	第116期末	第117期末	第118期末
	2019年10月9日現在	2019年11月11日現在	2019年12月9日現在	2020年1月9日現在	2020年2月10日現在	2020年3月9日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	16,304,016,109	18,417,339,719	18,088,112,852	18,925,279,680	18,549,644,409	15,612,982,263
コール・ローン等	232,436,572	228,980,163	300,464,122	220,249,917	289,032,838	472,132,778
ALAMCO ハリス グローバル バリューストックマザーファンド(調書)	16,071,579,537	18,168,359,556	17,787,648,730	18,705,029,763	18,260,611,571	15,140,849,485
未収入金	—	20,000,000	—	—	—	—
(B) 負債	194,234,665	240,129,981	206,152,763	207,693,444	199,856,640	118,081,879
未払収益分配金	160,280,289	160,446,701	162,453,679	162,579,192	165,024,807	86,914,401
未払解約金	5,905,547	47,404,665	15,489,858	12,795,861	1,544,894	3,054,747
未払信託報酬	27,972,280	32,115,573	27,988,815	32,097,794	33,066,393	27,892,731
未払利息	413	658	411	597	546	—
その他未払費用	76,136	162,384	220,000	220,000	220,000	220,000
(C) 純資産総額(A-B)	16,109,781,444	18,177,209,738	17,881,960,089	18,717,586,236	18,349,787,769	15,494,900,384
元本	16,028,028,908	16,044,670,125	16,245,367,924	16,257,919,291	16,502,480,781	17,382,880,310
次期繰越損益金	81,752,536	2,132,539,613	1,636,592,165	2,459,666,945	1,847,306,988	△ 1,887,979,926
(D) 受益権総口数	16,028,028,908口	16,044,670,125口	16,245,367,924口	16,257,919,291口	16,502,480,781口	17,382,880,310口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,051円	11,329円	11,007円	11,513円	11,119円	8,914円

(注) 第113期首元本額は15,845,572,682円、第113～118期中追加設定元本額は3,031,850,019円、第113～118期中一部解約元本額は1,494,542,391円です。

(注) 投資信託財産計算規則第55条の6第10号に規定する額は以下のとおりです。

元本の欠損(当作成期末)1,887,979,926円

○損益の状況

項 目	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期
	2019年9月10日～ 2019年10月9日	2019年10月10日～ 2019年11月11日	2019年11月12日～ 2019年12月9日	2019年12月10日～ 2020年1月9日	2020年1月10日～ 2020年2月10日	2020年2月11日～ 2020年3月9日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 9,965	△ 7,163	△ 10,031	△ 9,764	△ 10,697	△ 16,840
支払利息	△ 9,965	△ 7,163	△ 10,031	△ 9,764	△ 10,697	△ 16,840
(B) 有価証券売買損益	△ 555,795,464	2,226,221,836	△ 324,900,867	1,002,158,266	△ 442,105,531	△ 3,614,740,333
売買益	465,507	2,246,780,019	5,084,631	1,017,445,493	3,481,133	6,282,314
売買損	△ 556,260,971	△ 20,558,183	△ 329,985,498	△ 15,287,227	△ 445,586,664	△ 3,621,022,647
(C) 信託報酬等	△ 28,048,416	△ 32,202,366	△ 28,046,431	△ 32,097,794	△ 33,066,393	△ 27,892,731
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 583,853,845	2,194,012,307	△ 352,957,329	970,050,708	△ 475,182,621	△ 3,642,649,904
(E) 前期繰越損益金	△ 3,087,633,294	△ 3,626,393,250	△ 1,417,881,909	△ 1,732,546,098	△ 762,026,379	△ 1,221,947,294
(F) 追加信託差損益金	3,913,519,964	3,725,367,257	3,569,885,082	3,384,741,527	3,249,540,795	3,063,531,673
(配当等相当額)	(7,421,177,734)	(7,268,801,109)	(7,209,678,004)	(7,053,675,064)	(7,007,574,318)	(7,207,799,681)
(売買損益相当額)	(△ 3,507,657,770)	(△ 3,543,433,852)	(△ 3,639,792,922)	(△ 3,668,933,537)	(△ 3,758,033,523)	(△ 4,144,268,008)
(G) 計(D+E+F)	242,032,825	2,292,986,314	1,799,045,844	2,622,246,137	2,012,331,795	△ 1,801,065,525
(H) 収益分配金	△ 160,280,289	△ 160,446,701	△ 162,453,679	△ 162,579,192	△ 165,024,807	△ 86,914,401
次期繰越損益金(G+H)	81,752,536	2,132,539,613	1,636,592,165	2,459,666,945	1,847,306,988	△ 1,887,979,926
追加信託差損益金	3,753,239,675	3,576,954,058	3,408,243,671	3,234,355,774	3,084,515,988	2,976,617,272
(配当等相当額)	(7,261,261,211)	(7,120,583,449)	(7,048,224,439)	(6,903,697,139)	(6,842,657,114)	(7,121,054,248)
(売買損益相当額)	(△ 3,508,021,536)	(△ 3,543,629,391)	(△ 3,639,980,768)	(△ 3,669,341,365)	(△ 3,758,141,126)	(△ 4,144,436,976)
分配準備積立金	69,543	571,635	146,451	813,908	1,078,146	1,366,514
繰越損益金	△ 3,671,556,682	△ 1,444,986,080	△ 1,771,797,957	△ 775,502,737	△ 1,238,287,146	△ 4,865,963,712

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用指図に係る権限の一部を委託するために要した費用として、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対して年1万分の65の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。

(注) 分配金の計算過程

第113期計算期間末における費用控除後の配当等収益(一円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(一円)、信託約款に規定する収益調整金(7,421,541,500円)および分配準備積立金(69,543円)より分配可能額は7,421,611,043円(10,000口当たり4,630円)であり、うち160,280,289円(10,000口当たり100円)を分配金額としています。

第114期計算期間末における費用控除後の配当等収益(12,523,769円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(一円)、信託約款に規定する収益調整金(7,268,996,648円)および分配準備積立金(81,368円)より分配可能額は7,281,601,785円(10,000口当たり4,538円)であり、うち160,446,701円(10,000口当たり100円)を分配金額としています。

第115期計算期間末における費用控除後の配当等収益(一円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(一円)、信託約款に規定する収益調整金(7,209,865,850円)および分配準備積立金(958,719円)より分配可能額は7,210,824,569円(10,000口当たり4,438円)であり、うち162,453,679円(10,000口当たり100円)を分配金額としています。

第116期計算期間末における費用控除後の配当等収益(12,758,825円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(一円)、信託約款に規定する収益調整金(7,054,082,892円)および分配準備積立金(248,522円)より分配可能額は7,067,090,239円(10,000口当たり4,346円)であり、うち162,579,192円(10,000口当たり100円)を分配金額としています。

第117期計算期間末における費用控除後の配当等収益(一円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(一円)、信託約款に規定する収益調整金(7,007,681,921円)および分配準備積立金(1,078,146円)より分配可能額は7,008,760,067円(10,000口当たり4,247円)であり、うち165,024,807円(10,000口当たり100円)を分配金額としています。

第118期計算期間末における費用控除後の配当等収益(一円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(一円)、信託約款に規定する収益調整金(7,207,968,649円)および分配準備積立金(1,366,514円)より分配可能額は7,209,335,163円(10,000口当たり4,147円)であり、うち86,914,401円(10,000口当たり50円)を分配金額としています。

○分配金のお知らせ

	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期
1万円当たり分配金(税込み)	100円	100円	100円	100円	100円	50円

◇収益分配金のお支払いは、各決算日から起算して5営業日までに開始します。

◇収益分配金を再投資する方のお手取り収益分配金は、各決算日の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資しました。

◇課税上の取扱い

- ・追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」(受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分)とがあります。
- ・収益分配金落ち後の基準価額が、当該受益者の個別元本と同額または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となります。収益分配金落ち後の基準価額が、当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、当該収益分配金から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が普通分配金となります。
- ・受益者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。
- ・個人の受益者の普通分配金については、20.315%(所得税および復興特別所得税15.315%、地方税5%)の税率による源泉徴収が行われ、原則として確定申告の必要はありません。なお、確定申告を行い、総合課税(配当控除の適用はありません。)または申告分離課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合は、税率が異なります。

※上記は、作成日現在のもので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更される場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

親投資信託 ALAMCO ハリス グローバル バリューストックマザーファンド

第13期（決算日：2020年3月9日）

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

運用方針	主として、日本を除く世界各国の株式のうち、時価総額の大きな銘柄にグローバルな視点で投資し、値上がり益の獲得および配当等収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	日本を除く世界各国の株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	円	騰落率	期騰落率	中騰落率			
9期(2016年3月9日)	14,135	△16.7	180,421.59	△14.9	96.4	—	百万円 19,767
10期(2017年3月9日)	18,727	32.5	212,274.73	17.7	97.6	—	22,199
11期(2018年3月9日)	20,984	12.1	228,596.45	7.7	95.9	—	33,385
12期(2019年3月11日)	18,836	△10.2	231,115.51	1.1	97.9	—	33,987
13期(2020年3月9日)	17,121	△9.1	223,433.52	△3.3	96.2	—	30,652

(注) 基準価額は1万円当たりの値です。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注) 参考指数は、MSCI KOKUSAIインデックス(米ドルベース)をもとに、当社で対顧客電信売買相場仲値(円/ドルレート)を使って円換算したもので、当該外貨建指数については基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています(以下同じです)。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	円	騰落率	期騰落率	中騰落率		
(期首) 2019年3月11日	18,836	—	231,115.51	—	97.9	—
3月末	18,915	0.4	236,365.41	2.3	98.0	—
4月末	20,365	8.1	246,511.81	6.7	97.7	—
5月末	18,347	△2.6	229,852.85	△0.5	96.9	—
6月末	19,148	1.7	237,784.74	2.9	96.8	—
7月末	19,537	3.7	243,975.02	5.6	96.8	—
8月末	18,273	△3.0	231,442.98	0.1	97.3	—
9月末	19,190	1.9	238,499.96	3.2	97.3	—
10月末	20,342	8.0	247,420.00	7.1	97.0	—
11月末	21,009	11.5	256,358.35	10.9	97.8	—
12月末	21,856	16.0	263,735.02	14.1	97.8	—
2020年1月末	20,806	10.5	263,861.95	14.2	97.1	—
2月末	19,197	1.9	242,700.42	5.0	97.1	—
(期末) 2020年3月9日	17,121	△9.1	223,433.52	△3.3	96.2	—

(注) 基準価額は1万円当たりの値です。

(注) 騰落率は期首比で計算しています。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

◎運用経過(2019年3月12日～2020年3月9日)

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、期首の基準価額をもとに指数化したものです。

○基準価額の主な変動要因

主な上昇要因としては、米中が通商協議で部分的な合意に達したことや、イギリスのEU(欧州連合)離脱を巡る不透明感が後退したこと、予想を上回る企業決算の発表などが挙げられます。

主な下落要因としては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大や、米ドルやユーロに対して円高が進んだことなどが挙げられます。

○投資環境

当期の海外株式市場は、2020年2月中旬までは上昇基調となりましたが、期末にかけては大きく下落しました。

期初は、米中通商協議の進展期待や、中国の減税や社会保険料の引き下げ、市場予想を上回る企業決算などから、海外株式市場は上昇しました。

2019年5月に入ると、トランプ米大統領が2,000億ドルの中国製品に対する関税を25%に引き上げると発表したことをきっかけに米中通商問題への懸念が強まり、海外株式市場は反落しました。

その後は、米欧の中央銀行高官が金融緩和を示唆したこと、米中が通商協議再開に前向きな姿勢を示したこと、半導体大手が事前予想を上回る決算を発表したことなどから、反発しました。

8月に入ると、トランプ米大統領が中国への追加関税第4弾を9月1日から発動すると公表したことを受けて、海外株式市場は再び下落しました。その後は、米中が10月上旬に閣僚級の通商協議を再開するとの発表があったものの、中国やドイツの弱い経済指標や、予想を下回る米ISM製造業景況指数などから、一進一退の動きとなりました。

10月初め以降は、米雇用統計が堅調であったことや、米中が通商協議で部分的な合意に達したと報道されたこと、イギリスの下院選挙で与党・保守党が過半数を獲得し、EU離脱を巡る不透明感が後退したことなどから、海外株式市場は上昇基調となりました。2020年1月末にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大懸念から下落しましたが、2月に入ると、発表された米国の経済指標や企業決算が良好であったこと、中国人民銀行が連日で大規模な資金供給を実施したことなどから反発し、期中高値を付けました。

しかし、2月下旬以降は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、景気や企業業績への懸念が急速に強まったことから、海外株式市場は大きく下落しました。

当期末の海外株式市場は結局、前期末との比較では上昇となりました。地域別では、米国市場やエマージング市場は上昇となりましたが、欧州市場は下落となりました。

為替市場では、円は米ドルに対してもユーロに対しても大幅な円高となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

主として日本を除く世界各国の株式のうち、時価総額の大きな銘柄にグローバルな視点で投資し、値上がり益の獲得および配当等収益の確保を目指して運用を行います。

バリュー株投資で評価の高い米ハリス・アソシエイツ・エル・ピー(以下「ハリス・アソシエイツ社」といいます。)に運用を委託しています。

当期は、グレンコア(イギリス、素材)、ダイムラー(ドイツ、自動車・自動車部品)、ハリバートン(アメリカ、エネルギー)などがマイナスに寄与しました。

期首に保有していた銘柄のうち当期中に全売却したものは以下のとおりです。これらは売却目標に達したか、ポートフォリオの価値を高める、より魅力的な銘柄を組入れるために売却したものです。

銘柄	投資国	業種
ダノン	フランス	食品・飲料・タバコ
ディアジオ	イギリス	食品・飲料・タバコ
エクスペリアン	イギリス	商業・専門サービス
ゼネラル・エレクトリック	アメリカ	資本財
ワフテック	アメリカ	資本財
ウェルズ・ファーゴ・アンド・カンパニー	アメリカ	銀行
ウィリス・タワーズ・ワトソン	アメリカ	保険

(注) 業種はGICS(世界産業分類基準)に基づく24産業グループによります(以下同じです。)

一方、当期に新規に組入れを行った主な銘柄と概要は以下のとおりです。

銘柄、投資国、業種	概要
バンク・オブ・アメリカ アメリカ 銀行	銀行業務、投資、資産管理、その他金融およびリスク管理商品とサービスを提供しています。
パークシャー・ハサウェイ アメリカ 各種金融	様々な業種の企業に投資を行う持ち株会社で、保険事業、鉄道事業、化学品事業などの運営も行っています。
ヘンケル(普通株および優先株) ドイツ 家庭用品・パーソナル用品	接着剤や、ヘアケア、スキンケア用品、ランドリー、ホームケア用品などを製造しています。
ネイバー 韓国 メディア・娯楽	インターネット検索サイトやポータルサイト、メッセージャーなどを提供しています。

○今後の運用方針

ハリス・アソシエイツ社では、独自の集中したファンダメンタルズ調査に基づき、企業の持つ本来価値から相当割安な価格で取引されていて、かつ経営陣が実質オーナーとしての自覚を持って行動しているような企業を探し出して投資します。ポートフォリオは、厳格な基準に基づいて絞り込まれ、構築され、モニタリングされています。どのような市場環境においても、投資は長期的な視野に立ち、常に優れたリターンを得ることを目的に行われます。今後とも徹底したバリュー哲学に基づいてポートフォリオの運用を続けてまいります。ハリス・アソシエイツ社では、ポートフォリオは引き続き投資魅力度の高い銘柄で構成されており、長期的に優れたリターンをご提供できるものと考えています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年3月12日～2020年3月9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 5 (5)	% 0.024 (0.024)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際に支払う手数料です。
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	3 (3)	0.013 (0.013)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	13 (12) (0)	0.064 (0.061) (0.002)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および 資金の送金・資産の移転等に要する費用です。 信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	21	0.101	
期中の平均基準価額は、19,748円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます。)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2019年3月12日～2020年3月9日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 5,313	千米ドル 35,608	百株 12,795	千米ドル 49,494
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	3,440	20,827	1,677	10,599
	フランス	819	3,633	1,319	7,567
	オランダ	1,865 (362)	2,435 (2,259)	489	3,351
国	イギリス	38,511 (-)	千英ポンド 12,273 (6)	4,557 (-)	千英ポンド 6,899 (637)
	スイス	5,753	千スイスフラン 11,207	4,741 (-)	千スイスフラン 14,350 (941)
	韓国	921	千韓国ウォン 9,985,014	1,321	千韓国ウォン 7,574,580
	南アフリカ	208	千南アフリカランド 48,707	93 (-)	千南アフリカランド 26,303 (36,616)

(注) 金額は受渡金です。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

○株式売買比率

(2019年3月12日～2020年3月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	22,712,526千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	34,269,980千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.66

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2019年3月12日～2020年3月9日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年3月9日現在)

外国株式

銘柄	株数	株数	期 末		業 種 等	
			評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
ALPHABET INC-CL A	106	111	14,479	1,477,094	メディア・娯楽	
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	2,316	1,679	6,353	648,103	保険	
BAIDU INC - SPON ADR	326	390	4,444	453,430	メディア・娯楽	
BANK OF AMERICA CORP	—	2,346	6,031	615,280	銀行	
BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	—	446	9,186	937,136	各種金融	
BOOKING HOLDINGS INC	38	55	8,930	911,049	小売	
CATERPILLAR INC	256	252	3,062	312,412	資本財	
CHARTER COMMUNICATIONS INC	315	175	8,723	889,873	メディア・娯楽	
CITIGROUP INC	1,260	997	6,109	623,241	銀行	
COMCAST CORP-CL A	1,227	1,089	4,396	448,465	メディア・娯楽	
CONSTELLATION BRANDS INC-A	187	341	6,115	623,815	食品・飲料・タバコ	
GENERAL ELECTRIC CO	6,980	—	—	—	資本財	
GENERAL MOTORS CO	2,547	2,649	7,599	775,274	自動車・自動車部品	
GRUPO TELEVISIA SA-SPON ADR	4,396	4,396	3,727	380,273	メディア・娯楽	
HCA HEALTHCARE INC	327	382	4,867	496,514	ヘルスケア機器・サービス	
HALLIBURTON CORP	2,233	2,846	3,719	379,448	エネルギー	
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS	1,178	1,153	10,428	1,063,850	消費者サービス	
MOODY'S CORP	334	276	6,593	672,622	各種金融	
REGENERON PHARMACEUTICALS	128	223	11,067	1,129,027	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	1,386	161	886	90,444	半導体・半導体製造装置	
WABTEC CORP	37	—	—	—	資本財	
WELLS FARGO & CO	1,637	—	—	—	銀行	
LIBERTY GLOBAL GROUP-A	2,350	2,698	5,126	522,923	メディア・娯楽	
LIBERTY GLOBAL GROUP-C	1,551	1,255	2,284	233,001	メディア・娯楽	
WILLIS TOWERS WATSON PLC	287	—	—	—	保険	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	31,406 23	23,925 21	134,136 —	13,683,284 <44.6%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
HENKEL AG & CO KGAA	—	163	1,185	137,377	家庭用品・パーソナル用品	
BAYER AG	1,393	1,537	9,802	1,135,675	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
HENKEL AG & CO KGAA VORZUG	—	271	2,173	251,790	家庭用品・パーソナル用品	
ALLIANZ SE	446	504	9,529	1,103,941	保険	
DAIMLER AG-REG	2,517	3,644	12,704	1,471,818	自動車・自動車部品	
BAYERISCHE MOTOREN WERKE AG	828	828	4,737	548,875	自動車・自動車部品	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,184 4	6,947 6	40,133 —	4,649,480 <15.2%>	
(ユーロ…フランス)						
BNP PARIBAS	3,271	3,227	12,431	1,440,165	銀行	
DANONE	456	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,728 2	3,227 1	12,431 —	1,440,165 <4.7%>	
(ユーロ…オランダ)						
CNH INDUSTRIAL NV	12,886	14,624	11,608	1,344,848	資本財	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	12,886 1	14,624 1	11,608 —	1,344,848 <4.4%>	
ユ ー ロ 計	株数・金額 銘柄数<比率>	21,799 7	24,799 8	64,173 —	7,434,494 <24.3%>	

銘柄	株数	当 期		業 種 等		
		株 数	株 数		評 価 額	
					外貨建金額	邦貨換算金額
(イギリス)	百株	百株	千英ポンド	千円		
DIAGEO PLC	714	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
EXPERIAN PLC	705	—	—	—	商業・専門サービス	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	542	510	3,062	408,146	家庭用品・パーソナル用品	
GLENCORE PLC	27,596	61,592	10,720	1,428,748	素材	
WPP GROUP PLC	6,819	8,228	5,960	794,348	メディア・娯楽	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	36,376 5	70,330 3	19,743 —	2,631,242 <8.6%>	
(スイス)			千スイスフラン			
LAFARGEHOLCIM LTD	1,502	1,237	5,453	597,797	素材	
CREDIT SUISSE GROUP AG-REG	11,181	12,501	12,264	1,344,413	各種金融	
KUEHNE & NAGEL INTL AG-REG	358	127	1,793	196,608	運輸	
JULIUS BAER GROUP LTD	2,528	2,551	9,556	1,047,574	各種金融	
CIE FINANCIERE RICHEMON-REG	874	1,039	6,528	715,605	耐久消費財・アパレル	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	16,444 5	17,457 5	35,595 —	3,901,999 <12.7%>	
(韓国)			千韓国ウォン			
NAVER CORP	—	524	9,405,800	802,314	メディア・娯楽	
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	1,498	574	3,245,925	276,877	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,498 1	1,098 2	12,651,725 —	1,079,192 <3.5%>	
(南アフリカ)			千南アフリカランド			
NASPERS LTD-N SHS	360	475	117,518	747,415	小売	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	360 1	475 1	117,518 —	747,415 <2.4%>	
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	107,886 42	138,086 40	—	29,477,628 <96.2%>	

(注) 銘柄コードの変更等があった場合は、別銘柄として掲載しています。

(注) 評価額(邦貨換算金額)は、期末の評価額(外貨建金額)をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 小計欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額(邦貨換算金額)の比率です。

(注) 合計欄の<>内は、純資産総額に対する評価額(邦貨換算金額)の比率です。

○投資信託財産の構成

(2020年3月9日現在)

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	29,477,628	95.6
コール・ローン等、その他	1,344,840	4.4
投資信託財産総額	30,822,468	100.0

(注) 当期末における外貨建純資産(30,368,689千円)の投資信託財産総額(30,822,468千円)に対する比率は98.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=102.01円、1ユーロ=115.85円、1英ポンド=133.27円、1スイスフラン=109.62円、100韓国ウォン=8.53円、1南アフリカランド=6.36円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年3月9日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	30,880,659,126
コール・ローン等	1,135,882,917
株式(評価額)	29,477,628,009
未収入金	240,975,343
未収配当金	26,172,857
(B) 負債	228,453,913
未払金	228,453,913
(C) 純資産総額(A－B)	30,652,205,213
元本	17,903,520,301
次期繰越損益金	12,748,684,912
(D) 受益権総口数	17,903,520,301口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,121円

(注) 期首元本額は18,044,053,479円、期中追加設定元本額は381,809,402円、期中一部解約元本額は522,342,580円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、【元本の内訳】の通りです。

【元本の内訳】

ハリス世界株ファンド(毎月決算型)	8,843,437,583円
ALAMCO ハリス 年金グローバルバリューストックファンド2007(適格機関投資家専用)	6,423,748,566円
ALAMCO ハリス グローバルバリューストックファンド2007(適格機関投資家専用)	2,546,289,499円
ハリス世界株ファンド(資産成長型)	90,044,653円

○損益の状況 (2019年3月12日～2020年3月9日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	604,993,678
受取配当金	601,832,080
受取利息	2,390,645
その他収益金	873,290
支払利息	△ 102,337
(B) 有価証券売買損益	△ 3,581,011,192
売買益	2,761,236,016
売買損	△ 6,342,247,208
(C) 保管費用等	△ 22,392,309
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,998,409,823
(E) 前期繰越損益金	15,943,561,557
(F) 追加信託差損益金	345,190,598
(G) 解約差損益金	△ 541,657,420
(H) 計(D+E+F+G)	12,748,684,912
次期繰越損益金(H)	12,748,684,912

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。